

学報

2018 年 9 月 Vol. 733



オープンキャンパス 2018 を開催

2018 年度日本語・日本文化研修留学生の日本文化研究発表会を開催	01
ISO14001 内部環境監査員養成研修	03
オープンキャンパス 2018 を開催	04
第15回産学ツーリズムを開催	06
岐阜大学医学教育開発研究センター (MEDC)	
第69回医学教育セミナーとワークショップ 開催	07
COC+事業外部評価専門委員会を開催	08
地域協学センター、十六銀行及び中日本高速道路株式会社名古屋支社「次世代地域リーダーの協働育成の推進に関する覚書」を締結	09
地域協学センター事業評価専門委員会を開催	10
産官学連携の実施状況	11
メディア掲載一覧	12
諸会議	19
主要日誌	20
人事異動 (学内限定)	22

2018 年度日本語・日本文化研修留学生の日本文化研究発表会を開催

日本語・日本文化教育センターは、8月5日（日）、本学サテライトキャンパスにおいて、日本語・日本文化研修留学生（以下日研生）による日本文化研究発表会（修了論文発表会）を開催した。

日研生は、毎年10月から翌年8月までの約1年間、大使館推薦や大学推薦の国費外国人留学生として、また本学学術交流協定校からの留学生として本学に留学し、主に日本語と日本文化について学び、その集大成として修了論文を執筆する。論文のトピックはそれぞれの留学生が興味のあるものを選び、教員の指導と岐大の日本人学生が務める論文チューターのサポートを受けながら論文を完成させる。

今年の日研生は第17期生で、オーストリア、韓国、タイ、中国、ハンガリーから本学に留学している8人が発表を行った。

当日は、本学教職員、学生その他、一般市民の皆様方も来場された。日研生たちは、日本の文化や日本と自国の文化的な比較等各自が設定したテーマについて、各自が作成したパワーポイントを使用しながら発表した。フロアからの質問にも誠実に答え、日頃の学習や研究の成果を十分発揮した。

日研生は、8月21日（火）に行われる修了式に出席し、その後帰国します。帰国後は、それぞれが所属する大学に復学し勉学に励む。本修了生には、本学や他大学大学院への留学や、日本での就職のため再来日する学生が多数いる。成長した彼らとの再会を楽しみにしている。

発表者及び題目は次のとおり（発表順）

○孫 宇軒（ソン ウケン・中国）

「中国ローカルコンビニの現状と展開 ―日系コンビニとの比較から―」

○ヘル・フィオナ（オーストリア）

「日本人の知らない「エリザベート」 ―ウィーン版ミュージカルと宝塚版の比較―」

○タンプラバポー・パッタラポー（タイ）

「和製英語に対する意識 ―年代差と語構成に注目した分析―」

○唐 森（トウ ミョウ・中国）

「ジョバンニのアイデンティティの拡散と形成 ―成長物語としての『銀河鉄道の夜』についての考察―」

○金 娜延（キム ナヨン・韓国）

「韓国・大田（テジョン）市における路面電車（トラム）導入の是非 —ドイツ（フライブルグ市）・日本（岐阜市）との比較から—」

○趙 羽熙（チョウ ハキ・中国）

「中国人学習者の日本語有声・無声破裂音の習得実態についての考察 —上級者を中心に—」

○サボ・ダニエル（ハンガリー）

「相手との関係によって異なる謝罪表現の使い方 —日本語とハンガリー語の比較を通して—」

○易 彤（イ トウ・中国）

「リメイク作品から見る日中ドラマの時代性 —『東京女子図鑑』と『北京女子図鑑』を中心に—」



中国ローカルコンビニについての発表



『銀河鉄道の夜』についての発表



謝罪表現の使い方についての発表



発表会終了後の集合写真

ISO14001 内部環境監査員養成研修

本学は、8月7（火）～8日（水）、職員と有志の学生を対象として ISO14001 内部環境監査員養成研修を実施し、計32名が受講した。

本学は、附属病院を除く全学で ISO14001：2015 を認証取得しており、毎年職員と有志の学生による ISO14001 内部環境監査を実施している。

本研修は、内部環境監査を行うための力量を修得することを目的とし、株式会社テクノファより講師をお招きして、監査時のポイント等について指導をいただいた。研修は講義だけでなく、グループワークや実際の監査を想定したロールプレイもあり、充実したプログラムとなっている。

本研修修了者は、内部環境監査員として9月に学内の内部環境監査を実施する予定である。



研修の様子



グループワークを行う受講生

オープンキャンパス2018を開催

8月8日（水）、9日（木）、10日（金）に、オープンキャンパスを開催した。
3日間を通して6477人（速報値）の参加があり、盛況の内に終了した。

各学部では、学科（課程）の紹介、模擬授業、体験実習、施設見学や入試説明などを実施し、各学部の特色を紹介した。

また、学生スタッフによる、キャンパス案内企画や、岐阜大学生とのトークコーナー、岐阜大学の地下水を利用したイベント等、様々な催しが行われ、岐阜大学の魅力が伝えられた。

オープンキャンパスに来た参加者は大学の最先端の研究やキャンパスライフに触れた参加者は目を輝かせていた。



医学科の様子



看護学科の様子



地域科学部の様子



教育学部の様子



応用生物科学部（共同獣医学科）
の様子



工学部の研究室見学の様子

第15回産学ツーリズムを開催

8月8日（水）に第15回産学ツーリズムを実施した。

この取り組みは、学長をはじめ大学の執行部が産業活動の現場を訪れ、地域を支える産業の実情を把握し理解を深め、社会貢献の取り組みに役立てることを目的として平成19年度から実施している。

今回は工作機械メーカーの(株)アマダホールディングス（土岐事業所）及びオークマ(株)（本社工場）を訪問し、大学紹介、意見交換及び工場見学を実施した。

(株)アマダホールディングスでは、2017年に稼働したばかりのパンチ金型生産工場「T876工場」を見学した。オークマ(株)では工作機械の部品加工・組立工場「DreamSite(DS)」を見学した。両工場ともIoT設備を取り入れ工場、機械の稼働状況や加工条件等をデータ管理し生産性向上を図っていた。監視業務や一部の調整業務を除くほぼ全ての工程を人の手を介さず機械が行っており、第4次産業革命ともいわれている新技術進展の状況を間近に体験することが出来た。

訪問した2社は研究開発にも力を入れており、これまでも岐阜大学と共同研究を行っている。

生産現場の実情や技術的な課題について意見交換を行い、大学の研究力や人材育成への期待を実感した。

今回のように大学幹部自ら地元企業へ訪問し、現状を把握することは非常に重要であり、産学連携や人材育成により今後も地域へ貢献できるよう取り組んでいきたい。



訪問先企業にて挨拶する学長



訪問先企業にて将来ビジョンを説明する学長

岐阜大学医学教育開発研究センター（MEDC）
第69回医学教育セミナーとワークショップ 開催

医学教育開発研究センター（MEDC）は、信州大学医学部医学教育研修センターとの共催で、8月18日（土）から19日（日）の2日間にわたり、第69回医学教育セミナーとワークショップ i n 信州大学を開催し、全国各地から総勢209名の参加者・講師が集い、計6つのワークショップとセミナーを実施した。

ワークショップでは、模擬患者交流、学生・スタッフ対応、研修デザイン、Post CC OSCE など、多彩なテーマについて活発な論議がなされた。中でも「卒後臨床研修事務職員の役割：ペーパーワークを越えて」のワークショップは、全国の臨床研修事務担当者・医師等35名が参加し、まずは役割について意見交換・情報共有したのち、先進的な研修事務の取組、医師が求める事務担当者の役割、研修医の生の声及び研修医を確保するための工夫などについてセッションが行われた。臨床研修が必修化して14年が経過し、今後ますます重要になりつつある役割について一緒に考えるととても良い機会となった。

また、セミナーには国内の障害学生支援の一人者としてご活躍の信州大学教育学部の高橋知音先生を迎え、『支援ニーズがある学生や医療者への具体的対応を学ぶ』のテーマでご講演いただいた。障害のある学生を支援する法的根拠や支援の基本的な合理的な配慮について、また具体的な配慮事例や医療系学生の実習での工夫されたことについて詳細に説明された。

日ごろから対応について悩んでいた参加者にとっては大変意義のあるセミナーとなり、今後大学や医療者支援に生かしていきたいという声が大いに上がった。

医学教育開発研究センターでは、医学教育共同利用拠点として我が国の医療者教育の普及・開発・向上に寄与すべく、年4回「医学教育セミナーとワークショップ」を開催している。

次回第70回は11月3日（土）～4日（日）の2日間、自治医科大学にて開催する。



講演される高橋先生



成果発表するワークショップ4
受講生

COC+事業外部評価専門委員会を開催

年8月23日（木）に、岐阜大学サテライトキャンパスで岐阜大学地域協学センターCOC+事業外部評価専門委員会を開催した。

本委員会は、岐阜大学が主幹校として採択された地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）「岐阜でステップ×岐阜にプラス 地域志向産業リーダーの協働育成」の進捗状況等を客観的に評価するために設置されたもので、学外の有識者により構成されている。

当日は、委員として一般財団法人農政調査委員会理事長の吉田俊幸氏、岐阜県インターンシップ推進協議会会長・岐阜プラスチック工業株式会社代表取締役会長の大松利幸氏、株式会社秋田屋本店代表取締役社長の中村正氏、株式会社技研サービス常勤監査役・統括顧問の猿渡要司氏、株式会社岐阜放送報道制作局副局長の高井博文氏の5名にご出席いただいた。

まず平成29年度実績に係る評価が行われ、次いで平成27年度から29年度までの実績に係る中間評価が行われた。各委員からは今後の事業の推進や事業協働機関との連携について貴重なご意見をいただいた。

今後、本委員会で決定された外部評価をもとに、ぎふCOC+事業推進コンソーシアム運営会議において、平成29年度実績に係る評価及び中間評価の結果を確定する予定である。



委員会の様子

地域協学センター、十六銀行及び中日本高速道路株式会社名古屋支社「次世代地域リーダーの協働育成の推進に関する覚書」を締結

地域協学センター、十六銀行及び中日本高速道路株式会社(以下 NEXCO 中日本)名古屋支社は、7月27日(金)に「次世代地域リーダーの協働育成の推進に関する覚書」を締結した。

本学は、インターンシップを核とした「次世代地域リーダー育成プログラム 産業リーダーコース」を全学的に実施し、学生と企業の相互理解を深め、学生の地元就職・定着を推進することで地方創生に貢献することを目指している。このような全学的な取組みの中で、岐阜大学は、NEXCO 中日本及び十六銀行とともに、平成28年度より岐阜大学生が参加し、地域の特長ある商材を有する地域企業の新たな販路開拓や商品開発の支援を目的とした「地域商材発掘プロジェクト」を実施してきた。本覚書は、三者のさらなる連携強化によって、地域で活躍できる人材の育成をより一層推進することを目的として締結した。

覚書の締結式では、十六銀行中村法人営業部長が「三者のパートナーシップを再確認し、地域で活躍する人材の協働育成による地方創生に向けた取組みが大切だと実感している」と、NEXCO 中日本名古屋支社谷上関連事業部長は「地域の魅力を発信できる個性豊かなサービスエリアやパーキングエリア作りに取り組んでいくとともに、三者がもつそれぞれの強み・持ち味を生かして地域の発展・活性化に寄与していきたい」と地域活性化へ向けたコメントがあった。益川地域協学センター長は、「このような三者がそれぞれの強みを生かし、今回の協定締結によって一層連携を深め、今後さらに地域で活躍できる人材を協働で育成することで、地域活性化や地方創生に寄与していきたい」と今後の抱負を述べた。

地域協学センター、十六銀行及び NEXCO 中日本名古屋支社は、本覚書を締結することにより、これまで以上に連携を深め、地域活性化を担う人材育成に努めていく。



覚書を手にする中村部長（左）、益川センター長（中）、谷上部長（右）

地域協学センター事業評価専門委員会を開催

8月24日（金）に、岐阜大学地域協学センター事業評価専門委員会を開催した。

本委員会は、本学が平成25年度から平成29年度まで実施した地（知）の拠点整備事業（COC事業）「ぎふ清流の国，地×知の拠点創成：地域にとけこむ大学」の評価を行うために設置されたもので、学外の有識者及び学内の教員により構成されている。

当日は、委員として一般財団法人農政調査委員会理事長の吉田俊幸氏、株式会社岐阜フットボールクラブ前取締役会長の薫田大二郎氏、株式会社技研サービス常勤監査役・統括顧問の猿渡要司氏、株式会社岐阜新聞社編集局局長待遇の一川哲志氏の4名にご出席いただいたほか、学内の教員1名が出席した。

まず平成29年度の評価が行われ、次いでCOC事業としての最終評価が行われた。各委員からは事業の実績について高い評価をいただいた一方で、事業終了後の継続的な実施に当たって様々なご意見をいただいた。

今後、本委員会の評価結果を踏まえ、COC事業の成果をいかして、本学が「地（知）の中核的拠点大学」として地域の課題解決及び地域の活性化に貢献できるよう取り組んでいく予定である。



委員会の様子

産官学連携の実施状況

○共同研究

(平成30年8月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
流域圏科学研究センター	李 富生	メタウォーター(株)
応用生物科学部	西津 貴久	(株)LIXIL
工学部	山下 実	岐阜県工業技術研究所
工学部	新川 真人	岐阜県工業技術研究所・(株)水生活製作所
応用生物科学部	光永 徹	太田油脂(株)
工学部	隈部 和弘	フルハシ EPO(株)
工学部	松下 光次郎	大日コンサルタント(株)
工学部	森田 亮介	大日コンサルタント(株)
工学部	河瀬 順洋	東洋電機製造(株)
工学部	櫻田 修	河合石灰工業(株)
工学部	櫻田 修	河合石灰工業(株)
工学部	速水 悟	三和シャッター工業(株)
工学部	仲井 朝美	岐阜県工業技術研究所
情報連携統括本部	村上 茂之	(公財)岐阜県建設研究センター
工学部	松村 雄一	マツダ(株)
工学部	植松 美彦	オークマ(株)
応用生物科学部	西飯 直仁	(株)シュガーレディ
応用生物科学部	光永 徹	ヤマガタヤ産業(株)
応用生物科学部	光永 徹	ヤマガタヤ産業(株)
応用生物科学部	長岡 利	(株)東洋発酵
地域連携スマート金型技術研究センター	王 志剛	太平洋工業(株)・(株)アマダマシンツール・日本ユニシス・エクセリューションズ(株)・ユニアデックス(株)
地域連携スマート金型技術研究センター	王 志剛	日本ユニシス・エクセリューションズ(株)
地域連携スマート金型技術研究センター	王 志剛	ユニアデックス(株)

○受託研究

(平成30年8月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
医学系研究科	湊口 信也	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
医学系研究科	永田 知里	国立研究開発法人国立がん研究センター
医学部附属病院	村上 啓雄	岐阜県

メディア掲載一覧

○新聞

(平成30年8月分)

掲載日	新聞名	内容
8月2日	読売	岐阜大 共同学位でインド工科大と連携 来年度から
8月2日	中日	避難所運営方法 根尾中生ら学ぶ 本県で防災・減災研修 ～地域減災研究センター 村岡治道 特任准教授～
8月3日	日本経済	豪雨時の対応 委員会で検証 岐阜県 ～工学部 高木朗義 教授～
8月3日	岐阜	「吃音を知る」25日セミナー 岐阜市・山田病院 ～教育学部特別支援教育講座 村瀬忍 教授～
8月4日	読売	フォーラム「がんと生きる～こことからだ 私らしく～」 注目されるコンバージョン手術 ～医学部附属病院 吉田和弘 病院長～
8月4日	岐阜	夏休み 強い味方 FC 岐阜試合会場 岐阜大生が宿題"アシスト" ～教育学部の学生など約30人～
8月4日	岐阜	◎サタデーコラム：複雑な火星の有機物 ～医学系研究科 國貞隆弘 教授～
8月4日	中日	牛の搾乳や授乳 児童が畜産体験 岐阜大で学習会 ～応用生物科学部 大場恵典 教授～
8月4日	中日	西日本豪雨を検証 有識者委員会設置 県庁で初会合 ～工学部 高木朗義 教授～
8月4日	朝日	豪雨災害 県が検証委発足 情報提供・防災の効果など軸に ～工学部 高木朗義 教授～
8月4日	岐阜	避難所運営、何をどうやる？ 岐阜盲学校教職員が頭上訓練 ～地域減災研究センター 村岡治道 特任准教授～
8月4日	岐阜	西日本豪雨 特別警報の周知 課題に 県が検証委設置、初会合 ～工学部 高木朗義 教授～
8月5日	岐阜	親子が献血の大切さ学ぶ 県赤十字血液センター ～教育学部附属小学校6年 東和緒さん～
8月6日	岐阜	花火の後、会場美しく 長良川河畔 117団体 6000人が清掃 ～アメリカンフットボール部～
8月6日	岐阜	◎教えてホームドクター：尋常性白斑「メラノサイトが減少 紫外線療法で色素を再生」 ～医学部附属病院皮膚科 松山かな子 臨床講師～
8月6日	岐阜	寄付の個人・法人表彰 県赤十字有功会が総会 ～地域減災研究センター 村岡治道 特任准教授～

8月6日	岐阜	働く補助犬「賢い」 岐阜保健短大で小学生講座 ～教育学部附属小学校5年 大西泰市さん～
8月7日	毎日	西日本豪雨1か月 農業被害「ほぼ把握」 県概要 額増大の可能性 ～工学部 高木朗義 シニア教授～
8月7日	岐阜	傷んだ家 復旧半ば 関・上之保, 修理費が大きな負担 ごみや泥除去は進む ～清流の国ぎふ防災・減災センター 小山真紀 准教授～
8月7日	岐阜	◎研究室から大学はいま: 植物生育, 遺伝情報で比較 ～応用生物科学部生産環境科学課程応用植物科学コース 小林佑理子 准教授～
8月7日	朝日	ドクターカー 救命の力に 岐阜大病院 全国初導入から4か月 迅速な初期治療後押し ～医学部附属病院 名知祥 医師～
8月7日	岐阜	岐阜大病院・市消防, 運用4ヶ月 ドクターカー命救う 心停止男性に適切処置 ～医学部附属病院 名知祥 医師～
8月7日	中日	消防本部常駐の岐阜大病院医師 心筋梗塞患者を救命 ～医学部附属病院 名知祥 医師～
8月8日	岐阜	中学生が DNA 鑑定 岐阜大で体験プログラム 米粒から品種見分ける ～生命科学総合研究支援センター (ゲノム研究分野) ～
8月8日	中日	7月豪雨被災者の検定料を全額免除
8月8日	岐阜	豪雨被災者の受験料を免除 岐阜大が5年間
8月8日	岐阜	農業と福祉, 連携学ぶ 岐阜大 施設職員らに講座 ～大場伸哉教授～
8月8日	毎日	名古屋大と岐阜大, 国への要望で合意
8月8日	岐阜	国に法改正要望で合意 岐阜大と名大 運営統合協議 支援や独自性担保
8月8日	日本経済	国への要望事項で合意 法人統合向け 名大・岐阜大
8月8日	中日	法改正 国に要望へ 岐阜大と名大, 法人統合会合
8月9日	中日	肥料と育て方の工夫で野菜をおいしく作る話 ～連合農学研究科～
8月9日	毎日	科学の森 準備周到, 東大「独り勝ち」 法人化見越し改革先行 広がる大学間格差 ～元岐阜大学長 黒木登志夫さん～
8月10日	中日	大学生が「一席」 落語王者決定戦 発祥の岐阜で18, 19日
8月10日	岐阜	学生落語の全国王者 誰に 18, 19日に「てんしき杯」 岐阜市
8月10日	岐阜	◎ちほ先生が見た岐阜人の不思議③④: 花火大会好き 人出や迫力, 驚きの連続 ～教育学部 大藪千穂 教授～
8月11日	岐阜	◎サタデーコラム: 女性の活躍, 体力が鍵 ～教育学部 春日晃章

		教授～
8月12日	中日	教員負担減へシニアの力 現場にゆとり 成長も後押し ～教育学研究科 吉沢寛之 准教授～
8月12日	読売	医学部入試 77%で男女差 合格率本社調査 東京医大3倍超
8月14日	岐阜	◎研究室から大学はいま：患者に寄り添う医師育成 ～医学系研究科寄附講座地域腫瘍学講座 高井光治 特任准教授～
8月14日	中日	全中6競技出場 37人が健闘誓う 岐阜市で激励会 ～教育学部附属中学校3年 陸上部 後藤大門さん～
8月15日	中日	保険会社支店長ら 地域活性化で講義 ～地域科学部の学生約150人が受講～
8月15日	中日	鷹治の会 in 岐阜 ～岐阜大卒・落語家 桂 鷹治さん～
8月15日	岐阜	「全国優勝目指す」 岐阜市役所 全中出場選手が決意 ～教育学部附属中学校3年 陸上部 後藤大門さん～
8月16日	岐阜	日本タクシー、バスツアーに"新風" 岐阜大生発案 インターン活用 ～次世代地域リーダー育成プログラム～
8月16日	岐阜	いじめをテーマ 25日に公開講座 ～教育学研究科 橋本治 教授～
8月16日	岐阜	白菊の記憶 飛騨川バス転落事故から50年:防災工事のエキスパート 人と技術で被害防ぐ ～工学部 沢田和秀 教授～
8月17日	中日	小学生が岐阜弁かるたに挑戦
8月17日	岐阜	食と生命テーマに 10月から公開講座 ～岐阜フィールド科学教育研究センター～
8月17日	中日	響けリトアニア民謡 女声合唱団 岐阜などで公演へ ～藤井 洋 名誉教授～
8月17日	岐阜	自分のDNAを抽出 岐阜大で講座 高校生、遺伝情報学ぶ
8月17日	中日	高校生が生命科学実験 岐阜大イベント 進路選択に役立て
8月17日	岐阜	岐阜新聞を活用しよう！ 岐阜大生ら製作の教材使い模擬選挙 ～教育学部の学生らが製作した小学校6年生向け主権者教育教材～
8月18日	岐阜	リトアニア女声合唱団が来岐 金華山に澄んだ歌声 ～藤井 洋 名誉教授～
8月18日	中日	高校の新必修科目「公共」 社会問題「自分ごと」で議論 多様な意見知る・深まりどこまで ～教育学部 田中伸 准教授～
8月18日	中日	珠算1級に満点合格 近藤君に表彰状伝達 日商検定試験で県内では一人 ～教育学部附属小学校6年 近藤皓貴さん～
8月19日	中日	防災の誓い 新たに 白川町 元消防団部長ら討論 ～工学部 高

		木朗義 シニア教授, 沢田和秀 教授～
8 月 19 日	読売	飛騨川バス転落 50 年 「注意勧告, 守られれば」 ～工学部 高木朗義 シニア教授, 沢田和秀 教授～
8 月 19 日	岐阜	建築の仕事, 見る・学ぶ たくみアカデミーなどで親子ツアー ～岐阜大構内 県食品科学研究所 (仮称) ～
8 月 19 日	中日	親子でがん学ぶ 県図書館で講座 ～医学部医師ら～
8 月 19 日	岐阜	豪雨対策, 今こそ 「8.17 災害」, 白川町でシンポ 安全確保やインフラ整備 識者ら具体策訴え ～工学部 高木朗義 シニア教授, 沢田和秀 教授～
8 月 20 日	岐阜	リトアニア 友好の美声 県図書館で合唱団公演 岐阜大名誉教授ら招待 ～藤井 洋 名誉教授～
8 月 20 日	中日	医学科生 オール力強く 川辺で西日本総体ボート競技 ～医学部ボート部～
8 月 21 日	中日	県ドクターヘリ運航 3000 回 無事故節目祝うセレモニー ～医学部附属病院 吉田和弘 病院長～
8 月 21 日	岐阜	ドクターヘリ出動 3000 回 岐阜大病院 開始から 7 年半, 安全運行 ～医学部附属病院 吉田和弘 病院長～
8 月 21 日	毎日	安全運航の継続誓う 県ドクターヘリ, 3 千回超で ～医学部附属病院 吉田和弘 病院長～
8 月 21 日	岐阜	産官学連携「航空宇宙センター」 県, 整備費に 7 億円
8 月 21 日	岐阜	長良天神書道展, 入賞決まる ～教育学部附属中学校 2 年 伊藤新菜さん～
8 月 21 日	岐阜	近藤君 満点合格 日商珠算検定 1 級「自信あった」 ～教育学部附属小学校 6 年 近藤皓貴さん～
8 月 21 日	岐阜	◎研究室から大学はいま: プラズマ活用で社会貢献 ～工学部機械工学科 西田 哲 准教授～
8 月 22 日	岐阜	論理的思考, 未来開く 成熟して巣立つ若者 ～工学部 村井利昭 学部長～
8 月 22 日	日本経済	岐阜大, 「IoT 金型」共同開発 ～スマート金型開発拠点～
8 月 22 日	毎日	ドクターの仕事に感銘 高 1 が医療体験セミナー ～医学部附属病院～
8 月 22 日	岐阜	「粉末の水素水」発売 奥長良川名水 岐阜大・東工大と開発
8 月 22 日	中日	千畝の功績広めたい 岐阜大名誉教授が講演 ～藤井 洋 名誉教授～
8 月 22 日	岐阜	防災対策アイデア提案 スーパーハイスクール 11 校生徒が発表会

8月22日	中日	医療の仕事の難しさ実感 岐阜大病院で子どもたち体験 ～医学部附属病院～
8月22日	岐阜	医者の仕事, 難しい 職員の子どもの職場体験 ～医学部附属病院～
8月23日	毎日	統合向け支援を要望 名大と岐阜大学長, 文科相に
8月23日	岐阜	本巣市, 園児の運動量チェック スポーツ庁の事業採択 機器装置, 適切な遊び促進
8月23日	読売	橋法定点検にドローン 日数短縮や予算削減 各務原市と岐阜大
8月23日	岐阜	ドリル取り組む 旧徹明小で寺子屋 ～岐阜大硬式野球部員 22 名～
8月23日	中日	難病なんでも医療相談 ～医学部附属病院 諏訪哲也 医師～
8月23日	岐阜	児童, ピタゴラ装置製作 サイエンスキャンプ 科学に興味深める
8月23日	中日	からくり装置製作に挑戦 小学生サイエンス・キャンプ
8月23日	毎日	旧徹明小学校舎で夏休み寺子屋 ～岐阜大硬式野球部員 22 名～
8月23日	岐阜	1 法人複数大学制を 岐阜大・名大 文科相に法改正要望
8月23日	中日	名大と岐大の学長 法人統合へ要望書 文科相に法改正求める
8月23日	朝日	法人統合に向け文科相へ要望書 名古屋大と岐阜大
8月23日	読売	岐阜大・名大統合 文科相に要望書
8月23日	日本経済	法人統合協議の2大学 文科相に法改正要望 名古屋大・岐阜大
8月24日	岐阜	そろばんグランプリ ジュニア部門 不破さん日本一 岐阜市長に報告「諦めずに頑張った」 ～教育学部附属小学校6年 不破花菜さん～
8月24日	岐阜	東海地区大学野球秋季岐阜 L 岐阜大 攻守で粘り強さ磨く ～硬式野球部～
8月24日	日本経済	かがくアゴラ: 糖鎖研究 てこ入れへ指針
8月24日	岐阜	◎ちほ先生が見た岐阜人の不思議㊟: みょうがぼち 珍しいソラマメの餡 ～教育学部 大藪千穂 教授～
8月25日	読売	大学ブランド酒 隆盛 コメ・酵母・市場調査... 事業と教育 相乗効果 ～応用生物科学部 中川智行 教授～
8月26日	岐阜	地震や消火 家族で体験 川辺町で防災フェア ～地域減災研究センター 村岡治道 特任准教授～
8月26日	中日	地域防災考えるフェア 川辺 非常食試食や蘇生法学ぶ ～工学部 村岡治道 特任准教授～
8月26日	中日	岐大病院では大画面で中継 大輪の花火 ～医学部附属病院～
8月26日	岐阜	町おこしの課題探る 岐阜大生が調査実習 ～地域科学部 藤本大

		空さん～
8月26日	岐阜	詐欺被害の防止へ 1, 2日イベント ～岐阜大落語研究会～
8月26日	岐阜	吃音へ理解深める 岐阜市で「支援セミナー」 ～教育学部 村瀬忍 教授～
8月27日	岐阜	生と死考える会 8日に9月例会 各務原の中部院大 ～医学部附属病院高次救命治療センター 小倉真治 センター長～
8月27日	日本経済	医学部入試の合格率 女子, 7割強で男子下回る 2次試験 影響大きく
8月27日	毎日	ヤギに触れ生態学ぶ 多彩なプログラム 支える地域や企業 ～応用生物科学部 八代田真人 教授～
8月28日	岐阜	◎研究室から大学はいま: MR I 早期診断技術開発 ～医学系研究科寄附講座先端画像開発講座 兵藤文紀 特任准教授～
8月30日	岐阜	タブレット活用, 学力向上へ 羽島市が小学校の授業見学 岐阜大と文溪堂と連携 教材や指導法改善
8月30日	中日	仕事と治療の両立支援 ～がん相談支援センター～
8月30日	中日	リトアニア民謡を女声合唱団が魅了 揖斐川でコンサート ～岐阜大コーラスクラブ～
8月31日	岐阜	安心・安全な国道41号を目指して 今までの災害経験を踏まえ, 身をまもるためにできること ～工学部社会基盤工学科 高木朗義シニア教授, インフラマネジメント技術研究センター 沢田和秀教授～
8月31日	中日	がん患者サロン「和み」 ～がん相談支援センター～

○テレビ・ラジオ・雑誌等

(平成30年8月分)

放送日	番組名	内容
8月6日	蛍雪時代 9月号	入試トレンド! 北陸・東海 キャンパス News 「親子で田植え体験 泥と触れ合うサッカーも」
8月6日	ぎふチャン 17:40～ 「お茶の間ステーション 2時6時」	『減災ラジオ』 岐阜県の災害特性 等 工学部社会基盤工学科 八嶋 厚 教授
8月26日	ぎふチャン 17:40～ 「お茶の間ステーション 2時6時」	『減災ラジオ』 「防災週間～防災訓練のポイント～」 清流の国ぎふ防災・減災センター 能島暢呂 教授

8 月 27 日	NHK BS プレミアム 22:00～23:00 「美と若さの新常識」	「サヨナラ便秘！新・糖質で腸美人」 応用生物科学部 早川享志 教授
----------	---	--------------------------------------

◇第5回 教学委員会（メール会議）

8月23日（火）

（審議事項）

1. 平成30年度入学料及び前期分授業料免除等について

主要日誌

月 日	行 事 名
8/ 1	東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修(生物・生命コース)
1	公開講座「農福連携のための農業技術講習」
1	前期公開論文発表会
1	秋季および第1次入学者選抜試験
2	男女共同参画推進室会議
2	夏休み医療実習体験セミナー「みてみようドクターの仕事！」
3	環境マネジメントシステム専門委員会
3	代議員会(連農)
7	ISO14001研修
7	企画運営会議
7	研究科委員会
8	ISO14001研修
8	グリフィス大学サマースクール(派遣)
8	オープンキャンパス
9	入学者選抜試験 合格発表
10	清流の国ぎふ防災リーダー育成講座
10	岐阜大学公開講座「視る・考える・創る「形と数」の教室」
11	高校生のための街なかオープンカレッジin岐阜
13	一斉閉庁
14	一斉閉庁
15	一斉閉庁
15	海外実務研修(アルバータ大学:カナダ)
15	アルバータ大学サマースクール(派遣)
15	アルバータ大学ESTプログラム
17	清流の国ぎふ防災リーダー育成講座 ひらめき☆ときめきサイエンス
18	数学的モデリングチャレンジ岐阜2017
18	第69回 医学教育セミナーとワークショップin信州大学(～19日)
19	岐阜大学公開講座「教育学部美術教育講座入学説明会・デッサンの基礎」
19	岐阜大学公開講座「高校生のための美術教室 自画像鉛筆デッサン」
19	公開講座「ひらめき・ときめきサイエンス」
20	ニューサウスウェールズ大学(UNSW)SD研修プログラム
20	コーディネーター会議
20	げんさい楽座
22	清流の国ぎふ防災リーダー育成講座
22	高等学校進路指導者との懇談会
22	学務委員会(看)
23	夏季休暇期間学童保育

23	COC+事業外部評価専門委員会
23	病院運営会議
23	病院運営会議
23	研究者倫理・職業倫理(連農)
24	東海・北陸人事担当者研修
24	大学院教育学研究科入学説明会
24	夏休み医療実習体験セミナー「みてみようドクターの仕事！」
24	メンタルヘルス・フィジカルヘルス(連農)
26	岐阜大学公開講座「親子天文教室」
27	教務厚生委員会(看)
27	特別講義 I
28	特別講義 I
29	東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修(電気・電子コース)
29	清流の国ぎふ防災リーダー育成講座
29	特別講義 I
30	JSTイノベーションジャパン2018
30	特別講義 I
31	代議委員会
31	研究科委員会